

岡山理科大学 科学ボランティアセンター

2024
No. 3

科・ぼ・せ・ん News Letter

2024.10.1 発行

<https://ridai-svc.org/>

科学ボランティア活動報告

7月21日	日	夏休みおやこ科学実験教室 【岡山市福祉交流プラザさいでん】 岡山理科大学で学ぶ自然教室 【岡山理科大学 B4号館1階】
7月26日	金	美作市岡山理科大学見学・体験ツアー 【理大 B0421 教室】
8月4日	日	わくわく科学教室 【西大寺ふれあい児童館】
8月8日	木	科学遊びイベント 【岡山市北ふれあい児童館】
8月9日	金	サイエンス フェスティバル(1日目) 【岡山高島屋】
8月10日	土	サイエンス フェスティバル(2日目) 【岡山高島屋】
8月11日	日	わくわく科学フェスティバル×理大の日スペシャル 【人と科学の未来館サイビア】
8月18日	日	第9回正福寺夏休み寺子屋 【正福寺】 岡山理科大学で学ぶ自然教室 【岡山理科大学 B4号館 2階】 ワクワクあいらサイエンス教室 in ちるどん 【始良市子ども館「ちるどん」】
8月19日	月	夏休みフリー塾・科学あそび 【岡山市立富山公民館】
8月20日	火	児島民主会館 夏休み科学実験教室 【児島民主会館】
8月21日	水	夏だ！こども学び館 【総社東公民館】
8月22日	木	夏休み科学教室 【朝日こどもクラブ】 科学実験教室 【津島小学校 みどりクラブ】
8月23日	金	妙福寺寺子屋 【妙福寺】
8月24日	土	サマースタディー(1日目) 【岡山理科大学】 4次元デジタル宇宙ビューワー 【人と科学の未来館サイビア】
8月25日	日	夏休みみんなで集まって遊ぼう会(科学教室の会) 【倉敷市帯高公民館】 サマースタディー(2日目) 【岡山理科大学】
8月26日	月	仮説実験授業 【理大 B0411 教室】
9月2日	月	トライ式高等学院 科学実験体験 【岡山理科大学】
9月3日	火	高校生との交流会 【井原市立高校】
9月8日	日	岡山理科大学で学ぶ自然教室 【岡山理科大学 B4号館1階】
9月12日	木	科学あそび 【御影インターナショナルこども園】
9月20日	金	科学クラブ ノートルダム清心女子大学附属小学校
9月22日	日	わくわく仮説実験教室 【人と科学の未来館サイビア】 サイビア理大の日 【人と科学の未来館サイビア】



科学ボランティア活動報告 ==写真と主催者コメント==

7月21日(日)夏休み おやこ科学実験教室 [福祉交流プラザさいでん]



子どもたちが実験しやすいよう、キットに分けられていて、準備が周到で、スムーズに実験をすすめることができた。一通りの実験後に、別室でのサイエンスショーもあり、子どもたちの好奇心をかき立てられるような構成になっていた。子どもたちの知的欲求に応えられる楽しい内容だった。子どもだけでなく、保護者も関心を持てるような内容で良かった。材料がたくさんあり、様々な色が出来、色の違い・不思議がわかる内容だった。子どもたちの疑問等に答える質問コーナーがあれば良かった。

7月26日(金)美作市岡山理科大学見学・体験ツアー [理大B0421教室]



8月4日(日) わくわく科学教室 [西大寺ふれあい児童館]

本年度も興味深い実験をありがとうございました。子どもだけでなく大人も興味をもって楽しむ姿が印象的で、身近なものを使って実験を通して、目には見えない空気について知ったり、不思議を実感したりすることができる内容でした。実験で使用する物品もほとんど準備をさせていただけるので、とても助かります。

8月8日(木) 科学あそびイベント

[岡山市北ふれあい児童館]



8月18日(日) 夏休み寺子屋 [正福寺]

今回は光の実験と、カメラの科学工作をしていただきました。興味深い内容で参加の子どもたちも楽しみながら熱心に取り組んでいた様です。また、様々な道具や映像を準備してくださっていたので分かりやすかったです。

8月19日(月)夏休みフリー塾・科学あそび

[富山公民館]



音と振動について分かりやすく教えていただきました。3人以上で話せる糸電話に子どもたちは大喜びでした。糸電話でオルゴールの音を聴くなど、自由な発想で楽しむ子もいました。「かーちゃんがおもしろかった」と大人気でした。

8月20日(火) 夏休み科学実験教室 児島民主会館



宇宙の分野は初めてでしたので、大変ためになりました。

8月21日(水) 夏だ！こども学び館 総社東公民館



8月22日(木) 夏休み科学教室 朝日こどもクラブ



空気をテーマにした実験では1年生から6年生まで大変興味津々で、クラブではできない貴重な体験ができました。工作で作ったおもちゃを夕方になっても大事に使って遊んでいる姿を見ると、開催できたことを嬉しく感じます。

8月25日(日) 帯高子ども会



9月20日(金) 科学クラブ

ノートルダム清心女子大学附属小学校

なかなか間近で見たり触れたりすることがないドライアイスを使った活動に、子どもたちは興味深々に活動していて楽しそうでした。

9月22日(日) わくわく仮説実験教室 [人と科学の未来館サイピア]



::: 学生スタッフ会OB/OG紹介 :::

ヤ ス

基礎理学科
2021年度卒

科ボラ在籍 2018-2020



** 近況・仕事内容 **

4月より社会人3年目です。大学卒業後は鹿児島県で塾の講師をしていましたが、1年経たないうちに転職をして、現在は愛知県で理科実験教室の講師を務めています。そこでは対象は幼児と小学生で、ジャンルを問わず、様々な実験や工作を使った授業をしています。



** 科ボラの思い出 **

様々なイベントやボラセンで過ごした日常、メンバーと過ごした日々で思い出(半分はトラブルのようなもの)は色々ありましたが、個人的に印象深いのは2つあります。

1つ目はモンゴルでの実験教室と科学イベントに参加したことです。そもそもモンゴルに行くなんてことを考えたこともなかったですし、私個人としても科ボラとしても初めてすることばかりで、困惑やハプニングが多かったです。そもそも言語が違うので、説明文を英語にすること、実験道具の現地調達することなど、普段とは違った経験ばかりでした。ただ私の拙い英語が伝わったかどうかは分かりませんでしたが、驚いたり、喜んだりしていた表情やリアクションは日本の子どもと一緒にあったというのは今でも鮮明に思い出せるほど特に印象的でした。2つ目は外との繋がりができた機会が沢山あったことです、当時就いていた役職の関係上、様々な場所に行く機会がありました。中でも科ボ研に参加したことについては、同じような活動をされている方々のお話を聞くことで様々な刺激を得られましたし、中でも社会人でこのような活動をされている方々との交流したことは間違いなく今の仕事に就くキッカケの一つにもなったとも言えます。

** 役に立っていること **

役に立っていることとしては、それこそ今の仕事にそのまま繋がっていることです。子どもたちの接し方はもちろんのこと、科ボラで得た実験や科学の知識・技術が使える機会がそこそこありますし、稀にはありますが、科ボラでやったことのある実験や工作を提案したら、企画として通ったこともあります。



** 後輩へのメッセージ **

科ボラでしか出来ないこと、知り得ないことは沢山あります。ボランティアに参加するだけでも恩恵はあるので、義務感を感じない程度で行くと良いと思います。毎月や定期的にある恒例のボランティアに参加することはもちろん大事ではありますが、そうではないボランティアに参加すると、もしかしたら思わぬところに自分の将来に繋がるヒントが手に入るかもしれません。また実験ショーや科学イベントというものは前と比べれば、かなり普及していますが、それを見る側ではなく、する側を経験できる機会というのは中々ないので、是非大事にして欲しいと思います。

モンゴル 体験報告

生物地球学部生物地球学科 2年 ひらこ

まずはこのような機会をくださったすべての方に感謝申し上げたいと思います。

さて、モンゴルで学生は科学教室や科学ショーを行いました。内容は化石のレプリカ作りと蛍光の実験、空気のショーでした。日本で何度か行ったことがある内容を英語に直して実施しました。正直自分は英語を話せるタイプではありませんでしたが、原稿を書いて何度も練習していくうちに自然と単語やフレーズが出てくるようになり、英語力の向上につながったと思います。

また、うまく言葉が伝わらなくても実験や科学の内容を生徒に見せると、目を輝かせて興味を示していました。自分たちでさらに実験を行う生徒たちもいました。

つまり、「科学は世界共通だ!」ということです。

このことを感じてから、科学イベントや科学教室に自信をもってできるようになった気がします。今回の経験が自分に自信をつけてくれたと心の底から感じます。

繰り返しになりますが、今回は本当にありがとうございました。



学生スタッフ会メンバー紹介

[イベント総括] やっちゃん

理学部 基礎理学科 3年生

科ボラに入ったきっかけ

私が科学ボランティアセンターでの活動を始めようと思ったのは、1年生の最初に行われた就職オリエンテーションの終わりにC1号館の渡り廊下で勧誘されたのがきっかけです。

当初、科ボラにはあまり興味がなかったのですが、実験を見て面白いと思ったのがきっかけです。また飽きっぽい性格なので、3年生まで続けるとは思っておらず、活動のための保険も1年分しか購入しませんでした。しかし今では科ボラの楽しさに気づき3年間続きました。

科ボラでの活動

初めて責任者を担当したのは、6月に行われたサイピア理大の日のロボットプログラミングです。実は、大学入学時は情報理工学部にも所属しており、ロボットにも興味を持っていました。そのため、1年の5月にコーディネーターの「のりせん」(岡崎則武)から声をかけていただき、「EV-3」というレゴ®が提供している組み立て可能なロボット教材を使ったブースを企画することになりました。その後、さまざまなサイエンスショーや科学工作、実験に挑戦する機会をいただき、さらにはイベントの

総括という大きな役割にも挑戦させてもらいました。

この科ボラでの活動を通じて、子どもとの接し方や、子どもが興味を持つショーの構成・企画の仕方を学びました。この経験は、教員になった際にも役立つと考えており、新任教員として他の人よりも一歩先んじてスタートできると感じています。



= 科ボセンにある使える備品 =

(コーディネーター 糸山嘉彦)

科学ボランティアセンターが所有する、たのしい、使える道具や機器たちを紹介します。

Vol.9《ガス量コントローラー》

スプレータイプの実験用気体は手軽に使用して便利ですが、指で押さえて一気にガスが出てしまい、無駄に使ってしまったり、微調整が難しかったりします。そんな時これがあるととても便利。上部のねじを手で回すことで、ガスの放出量を簡単に微調整できます。



Vol.8《ロング試験管とサーモインク(示温インク)》

長さ60cmの通常よりも長く、やや太めの耐熱試験管です。「水の温まり方」や「ものの溶け方」などの講師実験で時間をかけて観察するのにピッタリです。

サーモインクは温度の変化を色の変化として視覚的にとらえることができるインクです。40℃で、青からピンクに色が変わります。水の温まり方の実験に、ロング試験管との相性がピッタリです。

